

6月22日 オンライン就職ガイダンス ビデオ通話で情報交換



ビデオ会議ツールzoomやskypeで就職説明会を行うオンライン就職ガイダンスが八代工業高校で行われ、2・3年生の就職希望者や保護者が参加しました。参加した情報技術科の村川幸翼さん(3年生)、電気科の下山紫遠さん(3年生)は「対面ではないので、緊張せずに聞くことができた」と話しました。

6月18日 令和2年度緑化功労者表彰 森の大切さ、素晴らしさを伝える



森の大切さ、素晴らしさについて普及啓発などを行ってきた富田壽人さん(松崎町)が、国土緑化推進機構から緑化功労者として表彰され、県南広域本部で伝達式が行われました。富田さんは「これからもたくさんの人たちに森林の良さを伝えていきたい」と喜びを語りました。



6月19日 石工たちの技の結晶 石工の活躍とそのストーリーが日本遺産に



「八代を創造(たがや)した石工(いしく)たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー～」が日本遺産に認定されました。日本遺産は地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化や伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。市内には城の石垣やめがね橋など文化財が数多く残されており、これらを作り上げた石工の活躍のストーリーが日本遺産に認定されました。

東陽まちづくり協議会の橋永高德さんは「地域振興の弾みにしていきたい」と観光客増加に期待に胸を膨らませました。

6月20日 八代市消防団泉方面隊 バイク隊発足式



住民の安全・安心のために



八代市消防団泉方面隊は、山間部で発生した災害などの迅速な状況把握を目的にバイク隊を発足。バイクの利便性を生かし、災害現場などへ迅速に駆けつけることができます。

同方面隊の滝川浩敬隊長が「地域住民の安全・安心につながるよう研鑽(ひょうめん)に励みます」と話しました。



Twitter



Facebook



市ホームページ

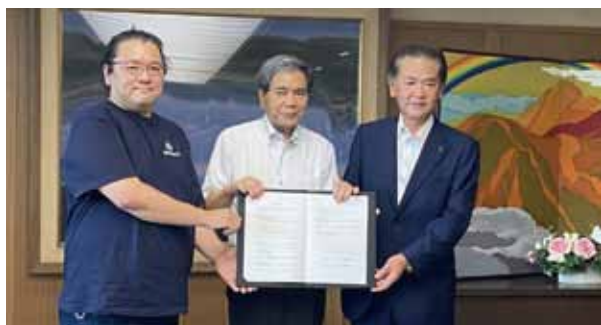
6月22日 安心なまち“やつしろ”プロジェクト発足式 安心して来店してもらうために



市内各店舗が独自に作成した新型コロナウイルス感染防止対策をインターネット上で公開する「安心なまちやつしろプロジェクト」の発足式が行われ、八代商工会議所など八代経済4団体、旅館組合、理容・美容組合が参加しました。

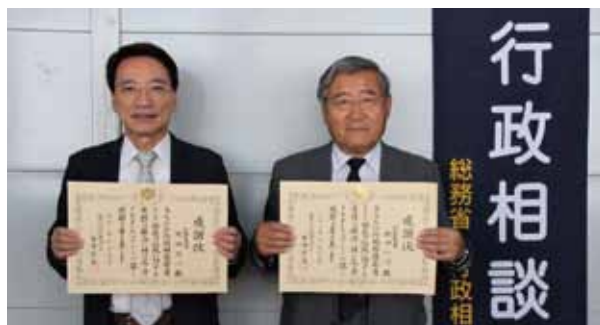
このプロジェクトは、県の感染対策チェックリストを基に、八代版を提案し、各店舗の状況に応じた対策チェックリストを作成。7月1日から、生活情報誌「NAINAI」のホームページに掲載し、各店舗の感染防止対策を確認後、安心して来店してもらおうという取り組みです。

6月24日 SUNABACOとの立地協定 ITスキルを持った人材育成のために



(株)SUNABACOと本市が蒲島郁夫知事立ち会いのもと立地協定を締結しました。(株)SUNABACOはデジタル技術などのIT事業を行う「(株)ハナハナワークスおきなわ」からプログラミングスクールなどの事業を切り離して設立された会社です。投資額は1千万円で、地元から5人が雇用される予定です。

6月19日 熊本行政評価事務所長感謝状贈呈 市民のために尽力したい



行政相談業務の遂行に特に尽力した功績をたたえ、本市の行政相談委員を務める野田信一さん(松江町)と穂田一行さん(植柳下町)に「熊本行政評価事務所長感謝状」が贈呈されました。

野田さん、穂田さんともに「今後も市民の役に立てよう、頑張りたい」と話しました。

6月30日 茅の輪くぐり 無病息災を願う



6月30日、豊葦原神社(遙拝神社)で夏越しの大祓が行われました。これは茅の輪をくぐることによって身についた半年間の穢れを祓い、無病息災を祈る神事です。

人がくぐる茅の輪の他にも、ペットや車がくぐる茅の輪もあり、雨が降りしきる中、約200人の参拝者が茅の輪をくぐりました。今年は新型コロナウイルスの流行もあり、疫病退散にご利益がある、アマビエが祭られ、新型コロナウイルスの収束も願いました。

宮本照明さん(豊原下町)は「毎年、お参りしているので大きな病気などがなく過ごせています。これからは病気をしないようにお参りしました」と話しました。